

□主な内容

【第 8 回 EST 交通環境大賞の結果を公表！】

EST 普及推進委員会では、「第 8 回 EST 交通環境大賞」の各賞を決定し、EST ポータルサイトにおいて公表いたしました。

[http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2016\\_02.html](http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2016_02.html)

【EST 関連フォーラム・セミナー参加者募集中！】

以下のフォーラム・セミナーについて、現在、参加者を募集しています。皆様からのご参加を主催者一同お待ちしております。

●第 10 回 EST 普及推進フォーラム【2017/2/13】

<http://www.estfukyu.jp/forum10.html>

●第 34 回 EST 創発セミナー〔北陸信越〕【2017/2/20】

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu49.html>

●第 13 回地域バス交通活性化セミナー【2017/2/28】

[http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/13th\\_seminar.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/13th_seminar.html)

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 126 回)

●「インバウンド観光振興の立場から EST に期待すること」

【首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース教授 清水 哲夫】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 126 回)

●「地方小都市における企業との協働による持続可能な公共交通への取り組み」

【富山県 黒部市 総務企画部企画政策課 公共交通政策班長 藤田 信幸】

3. ニュース／トピック

●第 8 回 EST 交通環境大賞の結果について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

●第 10 回 EST 普及推進フォーラムのパンフレット・ポスター掲示の募集について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

●平成 28 年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の認定及び交付決定(第二次)について【国土交通省】

●世界初・完全自律制御ドローンでの長距離荷物配送について【経済産業省】

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【東北運輸局】

●JR 関西本線沿線地域における広域バスの実証運行について【京都府】

- 平成 28 年度エコドライブ出前講座について【長崎県】
- 京都エリアウォークについて【京都市交通局】
- 燃料電池自動車を活用した有料カーシェアリング事業について【京都市】
- モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2016 授賞者決定について【一般社団法人カーフリーデージャパン】
- 長期気候計画を国連気候変動枠組条約に提出【国連気候変動枠組条約事務局】
- 物流・物運送業における複合輸送に関する職業訓練を進めるプロジェクトの支援【ドイツ連邦環境省】

#### 4. イベント情報

- 第 10 回 EST 普及推進フォーラム【2017/2/13】
- 第 34 回 EST 創発セミナー〔北陸信越〕【2017/2/20】
- 第 13 回地域バス交通活性化セミナー【2017/2/28】
- さっぽろエコドライブ活動セミナー【2017/1/30】
- 「ひと・もの」協働輸送プロジェクトシンポジウム【2017/2/3】
- バス運転者の確保・育成を考えるシンポジウム【2017/2/3】
- すいた環境教育フェスタ【2017/2/4】
- エコドライブセミナー 千葉県【2017/2/8】
- エコドライブ講習会 愛知県【2017/2/13】
- 低炭素杯 2017【2017/2/16】
- 女性限定！バス運転体験会【2017/2/18】
- 全国バスマップサミット in 横浜【2017/2/18,19】
- 第 17 回可児市環境フェスタ【2017/2/26】

#### 5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 126 回)

●「インバウンド観光振興の立場から EST に期待すること」

【首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース教授 清水 哲夫】

昨今の新聞等のメディアでも喧伝されているように、訪日外国人の来訪数がここ数年に渡って着実に増加していることはご存じかと思います。日本は島国ですから、限られたルートを除いては空路で入ってきます。航空機は技術開発によって徐々に燃費が改善してきていますが、国土交通省の調べによれば、二酸化炭素の移動距離当たりの排出量は自家用車よりは小さいものの、鉄道やバスよりは圧倒的に大きい値です。訪日外国人の入り込みは、韓国人や台湾人を除けば依然として大都市圏に集中しているため、できるだけ地方部に誘致したいところです。しかし、地方部では魅力的な観光資源が都市部から離れていることが多く、そこへの移動は自動車系交通にある程度頼らざるを得ないのが現実です。もし訪日外国人観光客数を一層増やしてどんどん地方に行ってもらったら、運輸エネルギー消費は増加し、二酸化炭素排出量も増加するでしょう。観光客をもてなすために必要な物資も、完全な地産地消が非現実的である以上、貨物車等で輸送してこないとならず、これも二酸化炭素排出量の増加要因になります。

もちろん、二酸化炭素排出量削減のために訪日外国人観光客の地方への流れを抑制することはありえませんが、彼らをできるだけ環境負荷の小さい交通システムで移動してもらい、地域の観光産業は可能な限り地産地消を心がけ、物資輸送の効率性を高めていく努力が必要でしょう。一方で、需要の増加を上手に取り込めば、地方の公共交通経営安定に多少は貢献してくれるかもしれません。電気自動車やカーシェアリング、ライドシェアリング、バイクシェアリングなどの新たなシステム要素の普及も期待できます。ピンチをチャンスに変えられるよう、地域交通関係各位の努力を祈念してやみません。

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 126 回)

### ●「地方小都市における企業との協働による持続可能な公共交通への取り組み」

【富山県 黒部市 総務企画部企画政策課 公共交通政策班長 藤田 信幸】

黒部市は、昭和・平成の大合併を経て市域を拡大してきたこともあり、比較的小さい人口密集地が複数存在し、広い市域に民家が点在するなど、可住地の人口密度がかなり低いことから、市民の移動は専ら自家用車で、公共交通を利用する習慣がほとんどありませんでした。

転機になったのは、北陸新幹線の開業でした。黒部宇奈月温泉駅が市内に設置され、2次交通整備の必要に迫られ、また、市内に製造拠点を置くYKKが、本社機能の一部を市内に移転したことに伴い、本社から家族を含めた千人規模の自家用車を持たない通勤者に対する移動手段の確保が必要となりました。そこで、新幹線駅と在来線の駅、市街地、観光拠点、YKK社宅等を結ぶバス路線を設定するとともに、コミュニティバス・タクシーにデマンドタクシー等従来のものも合わせた公共交通ネットワークを整備するに至りました。

しかしながら、マイカー中心の生活に慣れ、今までほとんど公共交通を利用したことのない市民がバス等に乗ることは稀で、地元住民と協議しながらルートやバス停を見直すなど利便性の向上や、地元と一緒に利用促進などの取組にもかかわらず、いずれの路線も1便あたり1～2人という低い利用状況で推移しているところです。

一方で、市内で約7,000人の従業員が勤務し、マイカー通勤による渋滞や駐車場確保に頭を悩ませていたYKKは、通退勤の公共交通への転換を図ろうと、朝夕の従業員送迎バスの公共バス路線化を目指し、日中にも運行したうえで公共施設やショッピングセンターをつなぎ、一般市民にも有料で開放する「南北循環線」の社会実験を、法定の公共交通戦略推進協議会の承認のもとに市等との協働により開始しました。沿線に居住する社員は約1,200人であり、その多くがバスに乗る光景を地域住民が目にするもののインパクトは人口42,000人の黒部市にとって小さくないと考えており、市民が公共交通に目を向けるきっかけになるのではないかと期待されています。

南北循環線は、利用者数が朝夕(主に社員)と日中(主に一般市民)で大きく異なることから、車両の手配や時間差出退勤の必要性その他の課題が社会実験から明らかとなりつつあり、黒字路線としてのモデル化も念頭に、今後さらなる検討や見直しを経て、平成29年度中の本格運行を目指しています。

今後の地方小都市が、移住・定住先として選ばれ生き残るために、持続可能な公共交通は欠かせないと考えており、地元企業との協働によるこのような取り組みは、重要な示唆を与えるものと考えています。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●第8回 EST 交通環境大賞の結果について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会では、「第8回 EST 交通環境大賞」(主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、後援:国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会)の各賞を決定し、公表しました。

[http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2016\\_02.html](http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2016_02.html)

#### ●第10回 EST 普及推進フォーラムのパンフレット・ポスター掲示の募集について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会では、2月13日(月)ルポール麹町「ロイヤルクリスタル」にて「第10回 EST 普及推進フォーラム ～地域交通が生む多様な価値を考える～」を開催します。このフォーラムにおいて、パンフレット・ポスター掲示を行います。現在、その参加者を募集しておりますので、ご興味ございましたら【2/3(金)締切】で以下までご連絡ください。

(株)オリエンタルコンサルタンツ(担当:篠原、若松、池野)

TEL:03-6311-7856

<http://www.estfukyu.jp/forum10.html>

#### ●平成28年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の認定及び交付決定(第二次)について【国土交通省】

国土交通省では、総合効率化計画の策定やモーダルシフト等の取組みを支援する「モーダルシフト等推進事業費補助金」について二次募集を実施し、18件を認定及び交付決定したことを発表しました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000296.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000296.html)

#### ●世界初・完全自律制御ドローンでの長距離荷物配送について【経済産業省】

経済産業省は、NEDO、福島県、南相馬市、株式会社自律制御システム研究所と協同し、福島県南相馬市の海岸において、世界初となる完全自律制御による回転翼ドローンでの長距離荷物配送の飛行実証試験を実施しました。

<http://www.meti.go.jp/press/2016/01/20170112003/20170112003.html>

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【東北運輸局】

東北運輸局は、自動車運送事業者等に対して、電気自動車バス・タクシー・トラック、燃料電池自動車バス・タクシー及び超小型モビリティの導入を重点的に支援している「地域交通グリーン化事業」において、東北運輸局管内では電気自動車タクシー6台の導入事業が支援対象として選定されたことを発表しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/puresu/puresu/jg17011001.pdf>

●JR 関西本線沿線地域における広域バスの実証運行について【京都府】

京都府は、自治体や交通事業者など地域の関係者が連携し、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、「JR関西本線沿線地域公共交通網形成計画」の具体的施策検討の一環として、JR加茂駅からJR月ヶ瀬口駅を結ぶ広域バスの実証運行を1月18日(水)～1月31日(火)まで行っています。

<http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/news/kouikibus.html>

●平成28年度エコドライブ出前講座について【長崎県】

長崎県では、地球温暖化防止対策の一環として、自動車を事業活動に使用している事業所を対象に、エコドライブの知識修得と実践を通じて環境負荷の軽減、燃費の低減による経費節減、安全運転による事故リスクの回避等を図ることを目的としたエコドライブ講習会を実施しています。実施期間は平成29年2月28日(火)までです。

<http://www.pref.nagasaki.jp.cache.yimg.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/ondanka/ecodrive/270651.html>

●京都エリアウォークについて【京都市交通局】

京都市交通局では、地下鉄の増客と駅周辺地域の魅力を伝えることを目的に地下鉄駅を起点としたウォーキングイベントを今年度も実施することを公表しました。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000213886.html>

●燃料電池自動車を活用した有料カーシェアリング事業について【京都市】

京都市では「水素エネルギー」の普及拡大に取り組んでおり、平成29年1月16日(月)から3月24日(金)において、利用者の水素燃料代の負担がなくなる「燃料代0円キャンペーン」を実施することを発表しました。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000202897.html>

●モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2016 授賞者決定について【一般社団法人カーフリーデージャパン】

一般社団法人カーフリーデージャパンでは、モビリティウィーク&カーフリーデー2016 において、移動に関する様々な問題を考える機会を市民へ提供し、新しい都市交通政策の展開を進展させるため、「モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード 2016」として、まちづくり貢献賞、イベント・プロジェクト賞、市民向けアピール賞、カーフリーデーベストショット賞を決定しました。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/1c9545c77279183fb90fd5f17b9abe55>

●長期気候計画を国連気候変動枠組条約に提出【国連気候変動枠組条約事務局】

国連気候変動枠組条約は、フランスが 2016 年 12 月 28 日に長期温室効果ガス低排出発展戦略を提出したと発表しました。この計画で、フランスは温室効果ガス排出を 1990 年比で、2030 年までに 40%削減、2050 年までに 75%削減することを目指しています。

<http://newsroom.unfccc.int/unfccc-newsroom/france-submits-long-term-national-climate-plan/>

●物流・物運送業における複合輸送に関する職業訓練を進めるプロジェクトの支援【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、物流・物運送業におけるトレーニングのためのモビリティプロジェクト「SYSLOG+」に対し、85 万ユーロを拠出することを公表しました。プロジェクトは 3 年間実施され、物流業・物運送業の職業訓練において効率と省資源に配慮した運輸への視点を取り入れることを目指しています。

<http://www.bmub.bund.de/presse/pressemitteilungen/pm/artikel/klima-fortbildung-fuer-logistiker-und-spediteure/>

---

#### 4. イベント情報

● 第 10 回 EST 普及推進フォーラム

～地域交通が生む多様な価値を考える～

日時:2017年2月13日(月)13:30～17:10

場所:ルポール麹町2階「ロイヤルクリスタル」

主催:EST普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/forum10.html>

● 第 34 回 EST 創発セミナー〔北陸信越〕

～地方小都市における持続可能な交通まちづくり～

日時:2017年2月20日(月)13:30～16:45

場所:ホテルアクア黒部2階「大宴会場」

主催:北陸信越運輸局、黒部市、EST普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu49.html>

● 第 13 回地域バス交通活性化セミナー

～ひと・まち・自然にやさしい持続可能なバス交通を目指して～

日時:2017年2月28日(火)13:30～16:50

場所:高梁市図書館4階「多目的室」

主催:中国運輸局、高梁市、エコモ財団

[http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/13th\\_seminar.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/13th_seminar.html)

● さっぽろエコドライブ活動セミナー

日時:2017年1月30日(月)14:00～16:00

場所:札幌エルプラザ 4F 大研修室

主催:札幌市環境局

[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya\\_kankyo/ecodrive.html](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya_kankyo/ecodrive.html)

● 「ひと・もの」協働輸送プロジェクトシンポジウム

日時:2017年2月3日(金)13:30～16:35

場所:札幌第2合同庁舎 9階講堂

主催:北海道運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/2901/290112.pdf>

- バス運転者の確保・育成を考えるシンポジウム  
日時:2017年2月3日(金)13:00~16:45  
場所:大阪科学技術センター 8階 大ホール  
主催:国土交通省近畿運輸局  
<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/2017-0105-1131-25.html>
  
- すいた環境教育フェスタ  
日時:2017年2月4日(土)10:30~15:30  
場所:吹田市文化会館 メシアター  
主催:吹田市  
[http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kankyo/kankyoseisaku/esd/\\_82408.html](http://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kankyo/kankyoseisaku/esd/_82408.html)
  
- エコドライブセミナー 千葉県  
日時:2017年2月8日(水)13:30~16:30  
場所:千葉県自治会館  
主催:九都県市首脳会議、千葉県、千葉市  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/press/2016/ecodrive-seminar.html>
  
- エコドライブ講習会 愛知県  
日時:2017年2月13日(月)13:00~16:30  
場所:中部トラック総合研修センター  
主催:愛知県、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)愛知支部  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/ecodrive20170213.html>
  
- 低炭素杯 2017  
日時:2017年2月16日(木)10:00~17:00  
場所:日経ホール  
主催:低炭素杯実行委員会  
<http://www.env.go.jp/press/103304.html>
  
- 女性限定!バス運転体験会  
日時:2017年2月18日(土)11:50~16:00  
場所:名鉄バス株式会社 津島営業所  
主催:中部運輸局愛知運輸支局  
<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kisya016/jikou20170116.pdf>

●全国バスマップサミット in 横浜

日時:(1日目)2017年2月18日(土)11:30~18:30

(2日目)2017年2月19日(日)10:00~12:00

場所:(1日目)横浜にぎわい座

(2日目)吉野町市民プラザ

主催:全国バスマップサミット実行委員会

[http://www.rosenzu.com/busmap/summit\\_yokohama.html](http://www.rosenzu.com/busmap/summit_yokohama.html)

●第17回可児市環境フェスタ

日時:2017年2月26日(日)9:00~15:30

場所:広見公民館ゆとりピア

主催:環境パートナーシップ可児

<http://www.city.kani.lg.jp/11580.htm>

---

## 5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！  
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。  
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。  
[http://www.estfukyu.jp/partnership\\_gaiyo.html](http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html)
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！  
<https://twitter.com/officeEST>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ  
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！  
配信申込はこちらから  
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)
- 記事募集中！  
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。  
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomom.or.jp](mailto:magazine@ecomom.or.jp) (担当: 熊井)

---

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>